

塾長の独り言 NO119 H21.4.4

「公と官を混同するな！」

4月に入り 新人が企業にも入社してきましたね。
レオパレスの入社式にはあの「藤原紀華」が登場したそうですね。最高な演出ですね
さて、先日も顧問先の新人研修があり「価値観の共有」がメインテーマでした。
私は「価値観の共有」の前に、「言葉の共有」が前提として重要だと考えております。
何度か聞いたことあると思いますが、社会人（新しい環境では同じ）となってその組織の風土になれるまで2年必要だと言われております。
それを早く、社風に馴染ませ、バリバリ仕事をしてもらうには、価値観の共有が一番必要なことです。
ではどうやって・・・それをするの？

そのスタートは言葉の概念を一致させることが重要になります。
企業の中で重要な言葉の解説文を作り 具体例も入れて、社員さんたちに暗証させること。
・・・そこまで出来ている企業がやはり強い企業ですね。

「公平」と平等」

「目的」と目標」

「戦略」と戦術」

ビジネスで使用する、分かっているつもり、このような言葉の違いが全員理解できているかどうか？
これをわかり易く伝えることが出来るスキルを言語概念化能力（コンセプショナルスキル）と言います。
これからの経営者 経営幹部はこの言語概念化能力がなければ失格です。

さて、今回は経営のヒントではなく、塾長の独り言ですから・・・最近の思うことを！

「官」と「公」を混同しているのが日本、そんな気がします。

明治時代に、福澤諭吉が指摘しているように、日本では「公」と「官」の区別が出来ていない。

「民主主義」といふより「民主制度」の国と呼んだ方がいいと感じます。いや「社会主義」かも？

「官」は「公」の決めた政策を遂行する人や組織のことです。

「公」が決める政策は、「公」が選んだ立法府が決めるもので、「役所」はそれを遂行する役目です。
では、現実の日本はどうなっているのか？

95%は「官」が日本の法律や政策を作っている。

<コメント>

日本の歴史では、徳川時代は「公」と「官」が同じであった。

明治維新になっても、今だ、そのままの体制のままか？

日本の政治家もアホで悪いが、国民もアホで悪い！

お上意識がいつになったら抜けるのか？

この激動の不況下、「官」に頼っても決して変わることはないはず。

12000円の生活支援金、最悪の政策、人気取りの愚策、誰が一番メリットあったのか？

高速道路料金 1000円、ETCのみ、天下り先の財源確保が目的か？

いったい誰のための政策か？

「公」の意識、英語ではパブリック

地方分権しなければ、この国の未来はない！そんな気がするこの頃です。

これも・・・言葉の混同、取り違えが・・・間違いのスタートだったと感じます。